

予 算 要 求 資 料

令和 2 年度 3 月 補正 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：家畜保健衛生費

事業名 **新** 高病原性鳥インフルエンザ防疫対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 防疫指導係 電話番号：058-272-1111(内 2886)

E-mail：c11449@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 118,400 千円 (現計予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	118,400	58,950	0	0	0	0	0	0	59,450
決定額	118,400	58,950	0	0	0	0	0	0	59,450

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 令和 2 年 11 月 5 日に香川県の養鶏農場にて高病原性鳥インフルエンザ (今季 1 例目) が発生して以降、全国の養鶏農場にて相次いで発生が確認されている。
- 令和 3 年 1 月 2 日に、美濃加茂市内の養鶏農場において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことから、国の「高病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針防疫指針」に基づき、防疫措置 (殺処分・埋却等) を行う必要がある。

(2) 事業内容

- 高病原性鳥インフルエンザの発生農場等において、防疫措置を実施する。
 - 農場内での防疫作業 鶏の殺処分、埋却、汚染物の処理、農場の消毒等
※堆肥の封じ込め作業が R3 年 4 月完了のため、ブルーシート等の廃棄物処理を R3 に実施
 - 農場周辺の作業 移動・搬出制限区域内へ出入りする車両の消毒ポイントの設置等

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・家畜伝染病予防法の規定に基づく。
 - ・国の全額負担：家畜防疫員旅費、検査薬品費、消毒薬品費
 - ・国の半額負担：動物用生物学的製剤費、防疫資材費、埋却費
 - ・県の全額負担：その他

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	400	医師等報償費
旅費	4,400	家畜防疫員旅費、防疫作業従事者等旅費
需用費	36,300	防疫作業用消耗品費、燃料費
役務費	600	防疫作業用資材運搬費等
委託料	70,000	埋却地掘削・埋戻業務、消毒ポイント設置・運營業務
使用料・賃借料	5,700	防疫作業用機材、バス・レンタカー借上料等
負担金	1,000	看護師等派遣負担金
合計	118,400	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 予算上の措置

- ・緊急的に実施する必要があったことから、予算編成執行規則第 12 条の規定による予算流用を行い事業に着手。（財政課協議済）

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 国の「高病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針防疫指針」に基づき、防疫措置（殺処分・埋却等）を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

国の防疫指針に基づき防疫措置を行う事業であり、指標の設定にはなじまない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	<p>家畜伝染病予防法第3条の2第3項により、高病原性鳥インフルエンザが発生した場合には、都道府県において、国の防疫指針に基づき防疫措置を実施することとされている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) —	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) —	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県内での再発を防止するため、飼養衛生管理の再徹底、継続的な消毒など農場防疫を強化・徹底を図る必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 各農場において、飼養衛生管理基準の遵守・徹底がされるよう、引き続き指導等を行っていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	